

おしえて
ごぞうくん



©ごぞうくん

ぎょう まき
～お経の巻～

ペンでなぞってみまじょう

南無妙法蓮華經

お仏壇^{ぶつだん}におそなえして
毎日^{まいにち}三回^{さんかい}となえましょう



日蓮宗静岡県中部宗務所
静岡県中部檀信徒協議会

〒416-0901
静岡県富士市岩本 2184-1 実相寺内
TEL.0545-64-6668
FAX.0545-66-4007
<http://myouhou.com/>



Q1

きょう
お経って
なんだろう？



いま 2500 年前、お釈迦さまは多くの人たちに「生きることの本当のすばらしさ」を話しました。みんなお釈迦さまの話しに心から喜びました。そして人びとは命あるかぎり強く生きていこうという気持ちにさせてくれたのは、お釈迦さまの言葉が、力強く、やさしく、わかりやすかったからです。お釈迦さまは 80 歳で死んでしまいました。人々は悲しましました。「これでもう、お釈迦さまのお話を聞くことができない…」。

そこで、人々は考えました。お釈迦さまから聞いたたくさんのお話をできるかぎり残そうということになったのです。そして 100 年、200 年がたってようやく完成されたものが「お経」です。「お経」は、お釈迦さまのことばであり、お釈迦さまのすべてなのです。

Q2

きょう
お経には
何が書いてあるの？



お釈迦さまは死んでしまいましたが、お釈迦さまのことばは残りました。「お経」は 2500 年という長い間に多くの世界中の人たちに伝わりました。「お経」は人が死んだときに読むもの？

本当は、生きている私たちのためにあるのが「お経」です。「お経」を読むのは、いのちは尊いということを知ること、だから悲しみをのりこえるため、そして死んだ人を心から送るためにも「お経」を読むことは大切なのです。また「お経は上げる」といいます。自分とほかの人のために「お経の心」を上げるといことをいいます。

そして昔から、「お経」を読むと心が明るくなるといいます。それは生きるための力をもらえるからで、なんといっても「お経」は耳にもやさしい音だからです。

Q3

きょう
お経はどこから来たの？



「お経」は、インドから中国に伝えられました。「お経」は、はじめインドのことばでしたから、中国で漢字に直されました。日本へは、聖徳太子の頃に中国へ船で渡り、「お経」はすべて書き写して持ち帰りました。日本に帰る途中、海が荒れて沈んでしまった船もありました。命がけで中国にわたり「お経」を持ち帰ったのでした。

「お経」は、お釈迦さまのお話しされたことばが、中国で漢字に直され日本に伝わったものです。そして「お経」は、古くからある日本の信仰にうまくとけこんで今、私たちが毎日を「生きるための本当のすばらしさ」を教えてくれる心の支えになっているのです。